令　和　7　年　度

事　業　報　告　書

学校法人　大阪明星学園
明星高等学校・中学校

Ⅰ. 法 人 の 概 要

1．法人の概要　(2026年 5月 1日 現在)

・学　校　法　人　名　：　学校法人 大阪明星学園

・理　事　長　名　：　理事長 馬込 新吉

・前身学校設立年月　：　1898年9月29日

・法人設立認可年月　：　1951年3月

・法　人　所　在　地　：　〒543-0016　大阪府大阪市天王寺区餌差町5番44号

・設置する学校・学科　：

学校名		明星高等学校	明星中学校
校長名		野中豊彦	野中豊彦
学科		全日制課程 / 普通科	
所在地		〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5番44号	〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5番44号
設立年月日		1948年 4月 1日	1947年 4月 1日
学則定員		1,290 名	810 名
入学定員		1,120 名	690 名
募集人員		2026年度3ヵ年募集 120 名	2026年度募集 220 名
生徒数	5/1現在	799 名	753 名
		1,552名	

2．役員・教職員の概要

役　員　：

	理　事	監　事	評議員
定員	5	2	6
現員	5	2	6

教職員　：

		専　任	常　勤	非常勤	計
教員 (*1)(*2)	高等学校	48 *51*	11 *10*	23 *20*	82 *81*
	中学校	35 *35*	9 *5*	13 *14*	57 *54*
	計	83 *86*	20 *15*	36 *34*	139 *135*
職員 (*3)	高等学校	6 *6*		1 *1*	7 *7*
	中学校	4 *4*		1 *1*	5 *5*
	計	10 *10*		2 *2*	12 *12*
		93 *96*	20 *15*	38 *36*	151 *147*

上段は2026年4月現在、下段は2025年4月現在

*1　養護教諭 2名(専任 高校・中学各1名)、司書教諭 2名(専任 高校1名・専任 中学1名)を含む

*2　ネイティブ外国人講師3名を含む　　*3　カウンセラー 2名(非常勤)含む

3．法 人 の 沿 革

1817年 10月	ギヨーム・ヨゼフ・シャミナード師によってフランスのボルドーにマリア会を創立
1887年 12月	マリア会本部から日本に2名を派遣
1888年 8月	東京に暁星学校(現在の暁星学園)を設立
1892年 1月	長崎に海星学校(現在の海星学園)を設立
1898年 7月	ジョセフ・ウォルフ先生が日本マリア会ヘンリック師より学校設立の命をうけ大阪派遣
9月	現大阪市西区江戸堀に建物を整備し「明星学校」と名付け、夜間外国語学校を開校 学校長 ジョセフ・ウォルフ先生就任(生徒数 13名)
1900年 12月	文部省から明星商業学校の設立認可
1904年 3月	現在の真田山に移転
1947年 4月	学制改正により明星中学校(新制)が設立
1948年 4月	学制改正により明星高等学校(新制)が設立
11月	創立50周年記念式典挙行
1951年 3月	私立学校法制定により「学校法人 大阪明星学園」発足
1960年 6月	信貴山校外学舎(奈良県生駒郡三郷町)着工
1973年 6月	伊那校外学舎(長野県伊那市)用地購入
1998年 11月	創立100周年記念式典挙行
2000年 9月	シャミナード師、「福者」の称号

Ⅱ. 事業の概要

- 4月、中学生の指導、対応をより適切に行うために、東館の2教室を中1職員室・中2職員室に改装した。
- 高校3か年コースでは、外部講師として西田将浩氏を招き、通年で総合学習を実施した。本校教員もチームティーチングとして参加し教授法について学んだ。
- 7月および11月には、本校保護者の緒方伸子氏による人権教育を、生徒対象・保護者対象にそれぞれ実施した。
- 「学校改革委員会」では、2026年度中1からの教育改革を検討し、実施が了承された。
- 130周年記念事業の一環として、グラウンドを人工芝化することを決定。
- 7月、グローバル教育としては、例年のプログラムに加えてハワイ姉妹校交流を実施する。マリア会姉妹校5校の海外研修はこれが初めて。
- 9月の体育大会では「生徒主体」をキーワードにプログラムを大幅に変更した。特に、高校2年の学年演技は大変好評であった。
- 11月には、生徒を主体としてバンドネオンコンサートを実施した。世界的に著名なバンドネオン奏者を招いてのコンサートは、学内外から好評を得た。
- 1月、事務業務の効率化を目的として事務室を改編し、法人事務室と学務室に分割した。
- 3月、図書館を改装する。利用者の増加を目指し、カーペットの張り替え、家具を新調した。
- 3月、生徒の活動の活性化を目的とし、ソフトボール同好会を設立した。

2025年度の主な行事についての実施状況は次のとおりである。

実施日 月	実施日 日	実施日 曜日	行事名	実施状況
4	4	金	入学式	中学・高校に分けて実施
5	25 〜 27	日 火	中学1年 オリエンテーション合宿	岐阜、愛知、2泊3日で実施
6 7	29 〜 5	土 土	高校Ⅱ年　研修旅行	F組以外は4泊5日、2班に分かれて北海道方面　F組は5泊6日、シンガポール
9	20	土	学園祭	来場者数約5,000名
9 	26 27	金 土	中学体育大会 高校体育大会	生徒主体をキーワードにプロクラムを大幅に変更する。特に、高校2年の学年演技は大好評であった。
10	19 〜 23	日 木	中学2年 研修旅行	3泊4日　/　長崎方面　2班に分かれて実施
2	28	土	高等学校　卒業式	
3	18	水	中学校 卒業式	

行事名	実施状況
球技大会	4月 高校実施　5月 中学実施　9月 中学・高校実施
人権講演会	7月15日(火)　「寄り添うということ」緒方伸子氏(全校生徒対象)
慰霊祭	11月1日(土)
バンドネオンコンサート	11月9日(日)マリアンホールにて実施
ウォークラリー	12月8日(月) 実施
クリスマスの集い	12月24日(水) 実施、ミサはマリアンホールにて実施

Ⅲ. 財 務 の 概 要

1. 主要な経営指標等の推移

〔事業活動収支計算書　推移〕

単位：百万円

決算期	2022年3月 2021年度	2023年/3月 2022年度	2024年/3月 2023年度	2025年/3月 2024年度	2026年/3月 2025年度
教育活動収入	1,845	1,851	1,804	1,749	1,825
学生生徒等納付金	1,110	1,083	1,070	948	927
補助金	592	580	563	653	724
教育活動支出	1,990	2,066	2,011	1,952	1,976
人件費	1,541	1,584	1,550	1,477	1,487
内退職金	68	96	84	43	61
教育研究経費	449	451	430	446	463
奨学費	21	21	19	14	14
減価償却費	158	159	151	153	163
教育活動収支差額	▲ 145	▲ 215	▲ 207	▲ 203	▲ 151
減価償却前	13	▲ 56	▲ 47	▲ 48	13
教育活動外収支差額	64	93	78	64	68
受取配当金	60	89	74	60	64
事業活動収支収支差額	▲ 81	▲ 122	▲ 128	▲ 139	▲ 83
減価償却前	77	36	32	16	81
総資産	6,254	6,099	6,095	5,791	5,698
純資産	5,423	5,301	5,171	5,042	4,937
現預金及び特定資産	3,134	3,043	3,040	2,784	2,668
現預金	1,032	826	831	560	444
特定資産	2,102	2,217	2,209	2,224	2,224
生徒数（年度初）	1,683	1,644	1,597	1,537	1,557
教員数（年度初）	133	133	137	131	135

2. 経営成績、財政状況及びキャッシュフローの現状分析

⑴経営成績

好調な中学受験により生徒数は8年ぶりに増加し、2025年度は1,557名、前年同期比20名増でスタートいたしました。

また、高校内部進学生の入学金改定、長年実施されていた中学校補助金カットの見直し等により、教育活動収支差額は前年度比大きく改善し、その結果、償却前の事業活動収支は81百万円となりました。

高校授業料無償化の進展により、教育活動収入に占める補助金の割合は高まっています。
今後は、私学としての独自性や教育内容の魅力をより明確に示し、長期的な教育方針に基づく「選択と集中」を進めていく必要があります。

(2)財政状態

総資産は2024年度末に比べ▲93百万円減少し、5,698百万円となりました。
現預金は▲116百万円減少しておりますが、有価証券残高が50百万円増加しておりますので、換金性の高い資産は▲66百万円の減少となります。

特定資産は増減なく、2,224百万円となりました。現預金、有価証券及び特定資産合計は前年比▲66百万円、残高は2,718百万円となっております。

単位:百万円

	2024年度末残高	2025年度末残高	増減
特定資産	2,224	2,224	0
有価証券	0	50	50
特定資産、有価証券残高及び支払資金	2,784	2,718	▲ 66

〔特定資産について〕

特定資産の2，224百万円のうち仕組債1,663百万円について200百万円の早期償還を見込んでいましたが、金利・為替等の市場環境により、結果として早期償還には至りませんでした。

一方、資金繰りおよび運用収益を勘案し、みずほ銀行の劣後債100百万円を購入しました。

(3)キャッシュフロー

2025年度の単年度キャッシュフローは、教育活動によるキャッシュフローが▲43百万円、設備投資活動によるキャッシュフローが▲104百万円となりました。一方、収益事業・財務活動等によるキャッシュフローは10百万円の増加となっています。
なお、当年度は有価証券を100百万円購入しているため、これを除いた実質的な資金収支では、収益事業・財務活動等が60百万円程度のプラスとなります。
中学校補助金カットの廃止等により、前年と比べて収支は大きく改善しましたが、教育活動によるキャッシュフローを運用収益等で補う構造が残っています。
少なくとも減価償却相当額を将来の設備更新に備えて内部留保できる水準を目指す必要があります。
継続的な収支改善と設備投資の優先順位付けが重要となります。

単位:百万円

前年度繰越支払資金			560
	収入	支出	収支
教育活動	1,792	1,835	▲ 43
退職金関連(教育活動)	(59)	(84)	(▲25)
収益事業他	21	0	21
財務活動	65	55	10
設備投資	30	134	▲ 104
合計	1,909	2,025	▲ 116
翌年度繰越支払資金			444

3. 設備の状況、今後の設備計画等

単位:百万円

	土地		建物	
	面積(㎡)	簿価	取得金額	簿価
聖堂			261	
東館			964	
北館			800	
南館	27,082	217	661	2,213
管理棟			546	
マリアンホール			1,323	
体育館			270	
駐車場3カ所	809	3	−	−
信貴山	26,349	25	30	4
伊那	43,392	137	52	0

〔2025年の主な設備投資実績〕

単位:百万円

項　目	金　額	備　考
マリアンホール・剣道場吊り天井工事	57.4	補助金20百万円
照明器具LED取替(グラウンド含む)	26.4	補助金　不承認
第一体育館空調機設置工事・小窓工事	15.0	補助金5百万円
バスケットゴール更新(第一体育館)	8.8	補助金3百万円
バスケットゴール更新(第二体育館)	7.0	補助金2百万円
グラウンド照明増設	6.0	
第一体育館屋根工事(雨漏り)	6.0	
追加PC/Windows10サポート切れ	5.0	2025、2026年度のうち1期目
学校改革費用/PBL	5.0	
学校改革費用/GLE	5.0	
図書館リノベーション	1.8	
第一体育館換気窓閉鎖工事	1.3	
東館職員室移転費用(中1・2教員移動)	1.1	
計	146	

〔2026年度の主な設備投資等の計画〕

単位:百万円

項　目	金　額	備　考
グラウンド人工芝	200	
受電設備更新工事	25	
貯水槽関係補修工事	6	
追加PC/Windows10サポート切れ	5	
多目的教室椅子・机	4	DX補助金10百万円あり
パイプ椅子・机	3	
東館EV更新工事他 （設備費）	18	
学校改革費用	6	
部室階段・廊下	5	
各教室扉	6	
ドアクローザー	2	
法定点検（建築・設備定期調査）	2	
建築・設備修理費他 （修繕費）	2	
計	283	

〔2027年度以降の主な設備投資計画〕

単位:百万円

項　目	金　額	備　考
外壁工事	300	
校舎廊下長尺シート改修工事	240	
食堂空調設置工事	20	改修との兼ね合い
食堂改修工事	40	50年経過
第一体育館改修工事	40	50年経過
計	640	

以上